

1 国語に関する調査

【特長】

- ・書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることがよくできている。
- ・時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付くことができている。読書習慣の定着を目指した取り組みにより、言葉に対する感覚が磨かれてきた成果だと考えられる。

【課題】

- ・学年別配当漢字表に示されている漢字を文の中で正しく使うことに課題がある。知識の定着を促す取り組みとして、学習した漢字を使う機会を十分に取る必要がある。
- ・情報を整理するために、重要度の高い語句と語句との関係を図に表したり、その図を活用したりすることに課題がある。語句と語句との関係に注目して情報を整理する学習を増やす必要がある。

2 算数に関する調査

【特長】

- ・角の大きさについてよく理解することができている。作図を取り入れた学習を積み重ねてきたため、直線と直線の開き具合が変わらなければ、角の大きさは変わらないということを、理解していると考えられる。
- ・はかりの目盛りを読むことができている。いろいろな種類のはかりを使う経験を重ねてきたため、一目盛りの重さを正しく判断し、全体の重さを読み取れていると考えられる。

【課題】

- ・分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述することに課題がある。計算の考え方について、自分で説明することができる力を養う必要がある。
- ・目的に応じて適切なグラフを選択したり、グラフから読み取れることを言葉や数を用いて記述したりすることに課題がある。グラフから読み取れることについて考える時間を確保し、様々な形で伝え合う機会を増やす必要がある。

3 理科に関する調査

【特長】

- ・電流がつくる磁力について学び、電磁石の強さは巻数によって変わるという知識を身に付けることがよくできている。

【課題】

- ・身の回りの金属を見て、電気を通す物、磁石に引き付けられる物を判断する知識の定着について課題がある。学んだことを組み合わせて考える機会を多くもつとともに、以前に身に付けた知識が活用されているかどうかを確認しつつ指導していく。

4 児童質問紙の結果より

【特長】

- 普段の生活の中で、幸せな気持ちになれることが「よくある」「ときどきある」と回答している児童が多い。日常の生活に対する満足度は高いと考えられる。
- 算数と理科について、「得意」だと考えている児童や、「好き」だと考えている児童が多い。また、それらの教科について、「社会に出たときに役に立つ」と考えている児童も多い。

【課題】

- 友達関係に満足していると回答している児童が少ない。学校では、友達との絆が自然に深まるような充実した学習活動を計画し、実行していく必要がある。また、児童が相談しやすい環境を引き続き整えていく必要がある。
- 「国語の授業で目的に応じて説明的な文章を読み、必要な情報を見付けている」と回答している児童がいる。国語だけでなく、様々な学習の中で、自分自身で必要な情報を読み取ることのできる力を養っていく必要がある。

授業・学校生活の充実に向けた取組

- 日常的な学習の積み重ねを大切にし、基本的な学習事項が確実に定着していくような指導を一層心がける。
- 本質的な理解が深まるような指導を心がける。児童自身が「どうしてそうなるのか」を説明できるような姿を目指し、授業研究・教材研究を充実させていく。
- 学級活動や特別活動の委員会・クラブ活動、学年の縦割り活動等で児童の特性を生かし、自分や仲間のよいところに、より気付けるよう工夫していく。
- 教育活動全体を通じた道徳教育の充実を図り、安心できる環境づくりを心がけ、一人一人に寄り添い、児童と一緒に考えることを大事にしていく。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- 情報機器を使ったコミュニケーションに起因するトラブルが、たびたび起こっています。放課後の過ごし方にご注意いただき、友達との関係性を見守っていただければ幸いです。
- ご家庭でも、本や新聞等から、多様な情報を得られる経験を重ねてほしいと願っています。いろいろな話題を共有し合うことで、学習に結び付く力も養われると考えています。
- 地域、家庭、学校のつながりを大切にし、地域への愛着心を育んでいきましょう。